



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	24-9714-7	版	4.02
発行日	2024/04/01	前発行日	2024/01/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
2Kプライマーサーフェサー5553

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
自動車

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号 042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A
発がん性： 区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H319	強い眼刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H350	発がんのおそれ
H371	臓器の障害のおそれ： 呼吸器
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。

P314 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
 P370 + P378G 火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

反復曝露すると皮膚の乾燥またはひび割れを起こすかもしれない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
石灰石	1317-65-3	10 - 30
タルク	14807-96-6	10 - 30
アクリルポリマー	営業秘密	10 - 30
メチルエチルケトン	78-93-3	19
酢酸ブチル	123-86-4	11
酸化チタン(IV)	13463-67-7	6.6
C. I. ピグメントイエロー 4 2	51274-00-1	0.5 - 1.5
結晶性シリカ	14808-60-7	0.21

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気でその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。指定された個人保護具を使用する。着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースをとること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。日光から遮断すること。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。乾燥した場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目**許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酢酸ブチル	123-86-4	ACGIH	TWA:50 ppm;STEL:150 ppm	
酢酸ブチル	123-86-4	ISHL	TLV（8時間）：150 ppm	
酢酸ブチル	123-86-4	JSOH OELs	TWA（8時間）：475 mg/m ³ (100 ppm)	
石灰石	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m ³ ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(提案)(Tiとして, 総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(提案)(Tiとして, 吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m ³ ;TWA(提案)(8時間):0.3 mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA(吸入性分画):2 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m ³	

結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA（吸入性分画）：0.025 mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
結晶性シリカ（吸入性粉塵）	14808-60-7	JSOH OELs	CEIL（吸入性粉塵として）：0.03mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA：200ppm、STEL：300ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（8時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（8時間）：590 mg/m ³ (200 ppm)	

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値)：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

ppm：百万分率

mg/m³：ミリグラム/立方メートル

CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
----	----

色	淡黄色
臭い	ケトン臭。， 刺激臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点，初留点及び沸騰範囲	80 °C
引火点	-3.9 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	9,500 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.428 g/ml
比重	1.428 [参照基準：水=1]
溶解度	10 - 49 % [詳細：低い]
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	436 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発性有機化合物	30.5 重量% [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発分	30.53 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	436 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花及び／ないし炎
熱。

混触危険物質

強酸化性物質

強酸
アルカリ金属及びアルカリ土類金属

危険有害な分解物

物質 **条件**
知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚の脱脂（長期または反復暴露）：予想される徴候と症状としては、局所的な発赤、かゆみ、皮膚の乾燥及びひび割れがある。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

長時間又は反復暴露した場合：

吸入による長期的ないし反復ばく露の恐れがある

塵肺症：持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
石灰石	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
石灰石	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
石灰石	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
酢酸ブチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
酢酸ブチル	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 1.4 mg/l
酢酸ブチル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 20 mg/l
酢酸ブチル	経口摂取	ラット	LD50 > 8,800 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
C. I. ピグメントイエロー42	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
C. I. ピグメントイエロー42	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
メチルエチルケトン	ウサギ	わずかな刺激
石灰石	ウサギ	刺激性なし
酢酸ブチル	ウサギ	わずかな刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントイエロー42	ウサギ	刺激性なし
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
石灰石	ウサギ	刺激性なし
酢酸ブチル	ウサギ	中程度の刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントイエロー 42	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
酢酸ブチル	多種類の動物種	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
C. I. ピグメントイエロー 42	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
酢酸ブチル	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
C. I. ピグメントイエロー 42	吸入した場合	ラット	発がん性なし
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
石灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
酢酸ブチル	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 7.1 mg/l	交配前および妊娠中。
酢酸ブチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 7.1 mg/l	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
酢酸ブチル	吸入した場合	呼吸器系	臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 2.6 mg/l	4 時間
酢酸ブチル	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
酢酸ブチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
酢酸ブチル	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 非該当	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	7 日

メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	当 NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酢酸ブチル	吸入した場合	嗅覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	14 週
酢酸ブチル	吸入した場合	肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 7.26 mg/l	13 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
C. I. ピグメントイエロー 42	吸入した場合	呼吸器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.2 mg/l	14 日
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している	該当なし	該当なし	該当なし

			る。			
C. I. ピグメントイエロー42	51274-00-1	液状化	推定値	3 時間	EC50	>=10,000 mg/l
C. I. ピグメントイエロー42	51274-00-1	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
C. I. ピグメントイエロー42	51274-00-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	397 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	18 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	44 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	196 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	23.2 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	繊毛原生動物	実験	40 時間	IC50	356 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	レタス	実験	14 日	EC50	>1,000 mg/kg (乾燥重量)
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン	13463-67-7	ファットヘッド	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

(IV)		ドミノウ (魚)				
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
C. I. ピグ メントイエロー 42	51274-00-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルエチル ケトン	78-93-3	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
酢酸ブチル	123-86-4	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
酢酸ブチル	123-86-4	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	6.3 日 (t 1/2)	
酢酸ブチル	123-86-4	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 (pH7)	3.1 年 (t 1/2)	
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
C. I. ピグ メントイエロー 42	51274-00-1	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルエチル ケトン	78-93-3	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	0.3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分 配係数)、高速液体

						クロマトグラフィー
酢酸ブチル	123-86-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

輸送分類 (IMO) : 3 引火性液体

輸送分類 (IATA) : 3 引火性液体

容器等級 : II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：第四類第一石油類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

労働安全衛生法：施行令別表第一 危険物
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当
酢酸ブチル	酢酸ブチル	該当	該当
酢酸ブチル	酢酸n-ブチル	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。
（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。